

第48回(令和5年度) 関宿ライオンズクラブ旗争奪 東葛地区親睦少年野球夏季大会

令和5年6月～ 7月22日・23日・29日

優勝 豊上ジュニアーズ

準優勝 東深井ボーイズ

第三位 長崎FLB

第四位 伊勢原ジャガーズ



主催 東葛地区親睦少年野球大会 運営委員会

協賛 野田市・関宿ライオンズクラブ

柏市・流山市・野田市・松戸市 各少年野球連盟

後援 マルエス株式会社 株式会社 共同写真企画



河井運輸株式会社 カワイコーポレーション有限会社
河井倉庫株式会社 河井石油株式会社

これまでの60年 これからの60年も 地元と共に

〒270-0225 千葉県野田市平井257-2 TEL:04-7198-6973 FAX:04-7198-6974

河井グループ

検索 

【東葛地区親睦少年野球夏季大会 協賛】

ライオンズクラブ国際協会

333C地区2R-2Z

関宿ライオンズクラブ

第36代会長 河井康行

青少年の未来を応援します！



Lions Clubs International

関宿ライオンズクラブ事務局

〒270-0226 千葉県野田市東宝珠花442-1 TEL:04-7128-4884 FAX:04-7128-4984

第48回 関宿ライオンズクラブ旗争奪 東葛地区親睦少年野球夏季大会

目 次

新優勝旗及び優勝盃 (写真).....	1
第48回 関宿ライオンズクラブ旗争奪	
東葛地区親睦少年野球夏季大会決勝大会成績表	2
決勝大会概評	3
~~~~~	
ベスト4チーム (写真).....	7
大会スナップ写真 .....	9
~~~~~	
第48回 関宿ライオンズクラブ旗争奪 東葛地区親睦少年野球夏季大会	
ブロックリーグ戦成績表	19
ブロックリーグ戦概評	23
東葛地区親睦少年野球夏季大会 歴代ベスト4	25
第48回 関宿ライオンズクラブ旗争奪	
東葛地区親睦少年野球夏季大会出場チーム	26
東葛地区親睦少年野球大会のあゆみ	27
東葛地区親睦少年野球大会開催要項(令和5年7月一部改正)	28
東葛地区親睦少年野球大会 役員名簿(令和5年8月改選)	30
第48回 関宿ライオンズクラブ旗争奪 東葛地区親睦少年野球夏季大会会計報告	31



関宿ライオンズクラブ寄贈の新優勝旗



賞品群



第48回 関宿ライオンズクラブ旗争奪 東葛地区親睦少年野球夏季大会 決勝大会成績表

開催月日 | 7月22日 | 7月23日 | 7月29日 |



☆決勝大会概評☆

豊上ジュニアーズが3連覇達成

決勝大会は柏地区と流山地区の対決

第48回(令和5年度)関宿ライオンズクラブ旗争奪・東葛地区親睦少年野球夏季大会は、参加した総数31チームが8ブロックに分かれて令和5年6月下旬からブロックリーグ戦を行い、そのうちの1位8チームが集結して流山少年野球場及び流山おおたかの森スポーツフィールドA面に於いて、7月22日(土)と23日(日)、29日(土)の三日間にわたって決勝大会が行われた。

今年度の決勝大会には、柏地区から伊勢原ジャガーズ、北柏スーパーナイン、豊上ジュニアーズ、光が丘シャークスの各チームが、流山地区からは流山ホークス、東深井ボーイズ、前ヶ崎クラブ、長崎FLBの4チームが出場して、野田市、松戸市他からの出場は無く、さながら柏地区と流山地区の対抗戦の様相を呈した。

決勝大会を振り返ると、初日の4試合は流山少年野球場とおおたかの森スポーツフィールドA面で各2試合ずつを行い、豊上ジュニアーズと伊勢原ジャガーズの柏勢2チームと、東深井ボーイズ、長崎FLBの流山勢2チームがそれぞれ勝ってベスト4に進んだ。

二日目の準決勝戦2試合はともに流山少年野球場で行われ、第一試合の伊勢原ジャガーズと東深井ボーイズの柏・流山対決は、東深井ボーイズの圧勝に終わったが、第二試合の豊上ジュニアーズと長崎FLBの対決は、長崎FLBが大健闘したものの、最後は実力に勝る豊上ジュニアーズが打ち勝って3年連続で決勝戦に進出した。

かくして今年度の決勝大会7試合の全てが柏地区と流山地区の対決となったが、東深井ボーイズ vs 豊上ジュニアーズの決勝戦は、ともに各市内の春季大会では、決勝戦に勝ち進んだ(豊上ジュニアーズは優勝)実力派同士の対決だけに非常に興味が募った。

しかし、試合は初回到豊上ジュニアーズ(以下豊上)が先頭打者からいきなり3連続四球で掴んだチャンスに、4番・前野の満塁ホームランで幕を開けた。その後5番・青柳と6番・蒔田の連続安打に、相手の内野ゴロエラーで1点を加え、何と初回でいきなり5点の先制は見事だった。と同時に、この得点で殆ど勝負が決まった感じとなってしまった。

東深井ボーイズ(以下東深井)にとっては、この失点は全くの想定外だったのでショックが大きく、以降の反撃意欲に多大な影響を及ぼしてしまった。

この結果、試合の主導権を握った豊上が、以降は余裕の試合運びで推移し、時間で最終回となった5回には、蒔田の安打と8番・渡辺の二塁打、1番・高根の三塁打などでダメ押し2点を追加して勝利に花を添えた。なお、優勝した豊上ジュニアーズは、令和3年度以降3年連続優勝の快挙を達成した。

敗れた東深井にとっては、1回戦と2回戦に大勝して調子を上げていただけに、この試合は当初は期待が大きかったが、初回の大量失点で躓いてしまったことが全てで、これは先発Pの乱調(連続3四球)が大誤算だった。しかし、後半走者を出して反撃したが、最後まで得点を挙

げられずに終わって無念の涙を呑んだ。

伊勢原ジャガーズ（以下伊勢原）vs 長崎FLBの三位決定戦は好試合だった。伊勢原が初回に先頭打者・椎名の安打から、一死後3番・斉藤の二塁打と5番・浦上のスクイズで2点を先制して好スタートを切った。そして前半の2回と3回は、両チームとも無得点で、1点を巡っての大接戦を展開した。

4回に入り両チームが1点ずつ取り合って、緊迫したムードは一段と高まったが、5回に長崎が2点を挙げて同点としたところで、その度合いは頂点に達した。この回の長崎の攻撃は、二死走者なしから2番・田中の安打に始まり、3番・鳴島と5番・野口の二塁打で2点を挙げたもので、これは素晴らしかった。さらに、決勝点を奪った6回も二死無走者からで、9番・大角が三塁打を放って出塁した後、1番の江橋がタイムリー安打（二塁打）を放って挙げたもので、まさに大詰めでの粘りの成果だった。劣勢を5回に追いつき、最終回の土壇場で決勝点を挙げた長崎の粘りが一際光った試合だった。

敗れた伊勢原にとっては、終盤の2イニングはともに走者を出し、とくに最終回は二死満塁一打逆転サヨナラ勝ちのチャンスただけに、後続に一打が出なかったのが痛かった。

なお、試合終了後に行われた閉会式では、ベスト4チームに贈られる団体賞のほかに、関宿ライオンズクラブ河合康行新会長（今期に就任）から優勝した豊上ジュニアーズの前野 魁選手に最優秀選手賞と、ベスト4チームから各1名の優秀選手賞（選手名は下記）が贈られた。

以下準決勝戦以降の成績

▽準決勝戦 7月23日（日） 流山少年野球場

長崎 FLB 0 0 3 2 0 = 5

豊上 ジュニアーズ 2 3 1 5 X = 11

審判：球審・田中（南流ファイターズ）、塁審・小仁田（流山市少年野球連盟）

西澤（流山市少年野球連盟）、西ヶ迫（大会役員・流山市少年野球連盟）

▽準決勝戦 7月23日（日） 流山少年野球場

東深井 ボーイズ 4 2 0 0 0 1 = 7

伊勢原 ジャガーズ 0 0 0 0 0 0 = 0

審判：球審・吉岡（松戸市少年野球連盟） 塁審・高橋（松戸市少年野球連盟）

内山（大会役員・松戸市少年野球連盟）、寺田（松戸市少年野球連盟）

▽三位決定戦 7月29日（土） 流山市・おおたかの森スポーツフィールドA面

長崎 FLB 1 2 7 2 0 = 12

伊勢原 ジャガーズ 2 0 2 2 1 = 7

審判：球審・西ヶ迫（流山市少年野球連盟） 塁審・吉田（流山市少年野球連盟）

林（流山市少年野球連盟）、田中（流山市少年野球連盟）

▽決勝戦 7月29日（土土） 流山少年野球場

豊上 ジュニアーズ 5 0 0 0 2 = 7

東深井 ボーイズ 0 0 0 0 0 = 0

審判：球審・花浦（松戸市少年野球連盟） 塁審・柴田（大会役員・松戸市少年野球連盟）、高橋（松戸市少年野球連盟）、百々（松戸市少年野球連盟）

大会受賞者

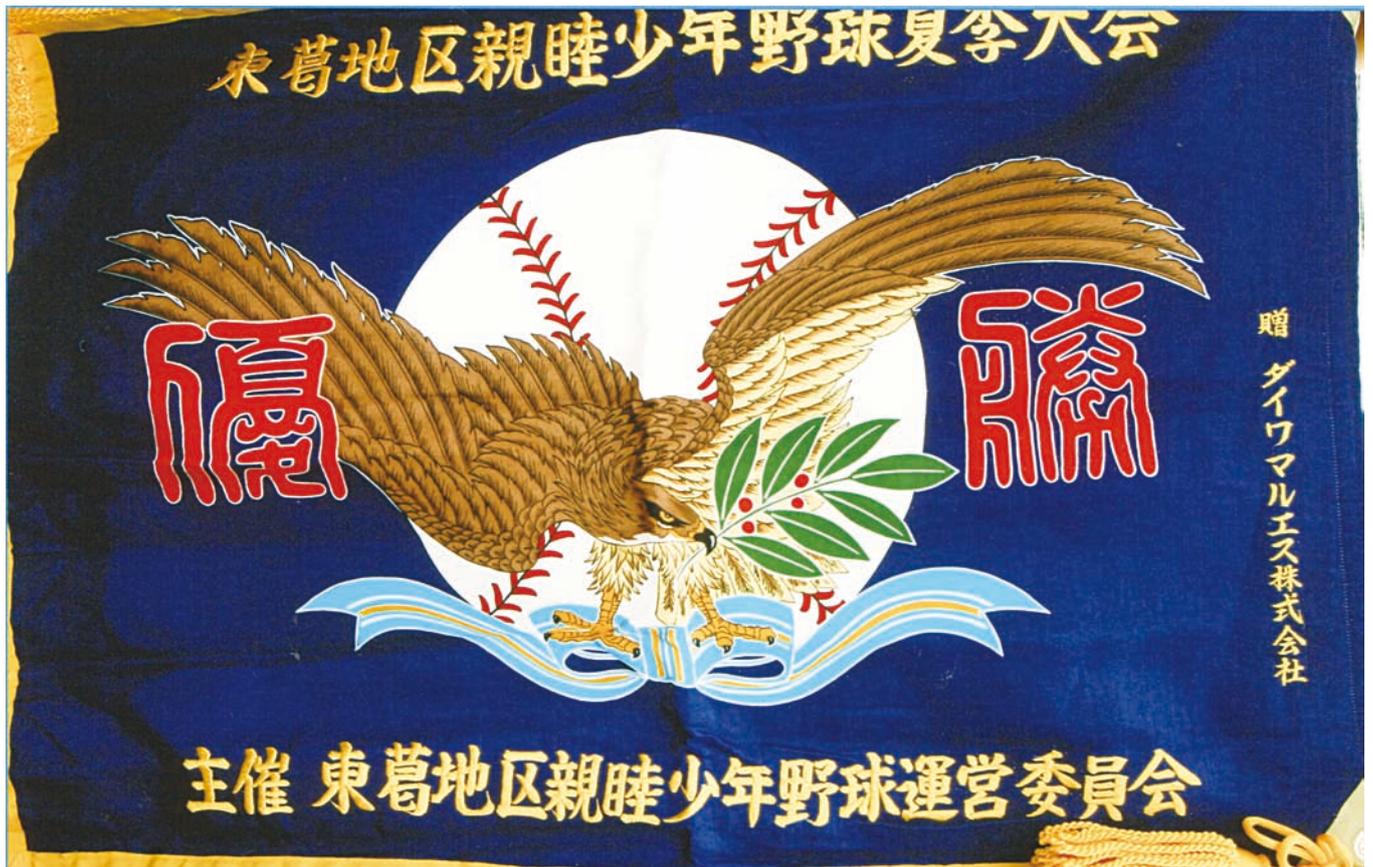
団体の部

優勝	豊上ジュニアーズ (三年連続 通算3回目)
準優勝	東深井ボーイズ
第三位	長崎FLB
第四位	伊勢原ジャガーズ

個人の部

最優秀選手賞	前野 魁 (豊上ジュニアーズ)
優秀選手賞	渡辺 瑛光 (豊上ジュニアーズ)
優秀選手賞	藤井 碧馬 (東深井ボーイズ)
優秀選手賞	江橋 建光 (長崎FLB)
優秀選手賞	椎名 蓮 (伊勢原ジャガーズ)





従来からの大会優勝旗及びカップ&トロフィ



★
★
★
2023
★
★
★
CHAMPION



優勝 豊上ジュニアース



準優勝 東深井ボーイズ



第三位 長崎FLB



第四位 伊勢原ジャガーズ



整列する参加各チーム



元気に選手宣誓



開会式

令和5年7月2日
於流山少年野球場



挨拶する
関宿ライオンズクラブ
河井新会長



山田大会会長



ス
ナ
ツ
プ



熱戦













閉会式スナッフ

令和5年7月29日 於 流山少年野球場



東葛地区親睦少年野球夏季大会 ブロック戦成績表

Aブロック

順位		伊勢原ジャガーズ	野菊野ファイターズ	江戸川台フェニックス	加岸ベアーズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	伊勢原ジャガーズ (柏)		○ 10-9	○ 13-2	○ 12-4	3	3	0	0	6	35	15	20
2	野菊野ファイターズ (松戸)	● 9-10		○ 6-4	△ 2-2	3	1	1	1	3	17	13	4
3	江戸川台フェニックス (流山)	● 2-13	● 4-6		○ 2-1	3	1	2	0	2	5	20	△15
4	加岸ベアーズ (流山)	● 4-12	△ 2-2	● 1-2		3	0	2	1	1	7	16	△9

Bブロック

順位		流山ホークス	五香メッツ	流山マリーンズ	豊四季イーグルス	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	流山ホークス (流山)		○ 14-13	○ 5-4	○ 12-4	3	3	0	0	6	31	21	10
2	五香メッツ (松戸)	● 13-14		△ 7-7	○ 14-4	3	1	1	0	3	34	25	9
3	流山マリーンズ (流山)	● 4-5	△ 7-7		○ 4-3	3	1	1	1	3	15	15	0
4	豊四季イーグルス (柏)	● 4-12	● 4-14	● 3-4		3	0	2	0	0	11	30	△19

東葛地区親睦少年野球夏季大会 ブロック戦成績表

Cブロック

順位		北柏スーパーナイン	松戸スラッガーズ	GBC流山	ありんこアトムス	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	北柏スーパーナイン (柏)		○ 3-2	○ 18-3	● 3-5	3	2	1	0	4	24	10	14
2	松戸スラッガーズ (松戸)	● 2-3		△ 4-4	○ 11-7	3	1	1	1	3	17	14	3
3	GBC流山 (流山)	● 3-18	△ 4-4		○ 5-4	3	1	1	1	3	12	26	△14
4	ありんこアトムス (流山)	○ 5-3	● 7-11	● 4-5		3	0	2	1	1	16	19	△3

Dブロック

順位		東深井ホーイズ	南流ファイターズ	セントラルパークス	柏ボーイング	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	東深井ホーイズ (流山)		○ 19-7	○ 19-0	○ 9-2	3	3	0	0	6	47	9	38
2	南流ファイターズ (流山)	● 7-19		△ 7-7	○ 15-4	3	1	1	1	3	29	30	△1
3	セントラルパークス (松戸)	● 0-19	△ 7-7		△ 4-4	3	0	1	2	2	11	30	△19
4	柏ボーイング (柏)	● 2-9	● 4-15	△ 4-4		3	0	2	1	1	10	28	△18

東葛地区親睦少年野球夏季大会 ブロック戦成績表

Eブロック

順位	チーム名	前ヶ崎クラブ	西新田子ども会	平川レッドスターズ	小田急ライオンズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	前ヶ崎クラブ (流山)		○ 6-2	○ 10-1	○ 5-2	3	3	0	0	6	21	5	16
2	西新田子ども会 (野田)	● 2-6		○ 8-2	○ 7-6	3	2	1	0	4	17	14	3
3	平川レッドスターズ (市川)	● 1-10	● 2-8		○ 7-6	3	1	2	0	2	10	24	△14
4	小田急ライオンズ (流山)	● 2-5	● 6-7	● 6-7		3	0	3	0	0	14	19	△5

Fブロック

順位	チーム名	豊上ジュニアーズ	カージナルス	野田ドンキーズ	初石クーガーズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	豊上ジュニアーズ (柏)		△ 0-0	○ 5-2	○ 33-0	3	2	0	1	5	38	2	36
2	カージナルス (流山)	△ 0-0		△ 0-0	○ 13-4	3	1	0	2	4	13	4	9
3	野田ドンキーズ (野田)	● 2-5	△ 0-0		○ 29-0	3	1	1	1	3	31	5	26
4	初石クーガーズ (流山)	● 0-33	● 4-13	● 0-29		3	0	3	0	0	3	76	△71

東葛地区親睦少年野球夏季大会 ブロック戦成績表

Gブロック

順位		光ヶ丘シャークス	八木南クラブ	向小金ファイターズ	野田ジャガーズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	光ヶ丘シャークス (柏)		○ 4-3	○ 12-1	○ 10-5	3	3	0	0	6	26	15	11
2	八木南クラブ (流山)	● 3-4		○ 5-3	○ 13-0	3	2	1	0	4	20	7	13
3	向小金ファイターズ (流山)	● 1-12	● 3-5		△ 7-7	3	0	2	1	1	11	24	△10
4	野田ジャガーズ (野田)	● 5-10	● 0-13	△ 7-7		3	0	2	1	1	12	30	△18

Hブロック

順位		長崎FLB	松葉ニューセラミックス	山崎クーガーズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	長崎FLB (流山)		○ 8-2	○ 11-3	2	2	0	0	4	19	5	14
2	松葉ニューセラミックス (柏)	● 2-8		○ 5-3	2	1	1	0	2	7	12	△5
3	山崎クーガーズ (野田)	● 3-11	● 3-5		2	0	2	0	0	7	16	△9

☆ ★ ブロックリーグ戦概評 ★ ☆

◆Aブロック

伊勢原ジャガーズが3戦全勝で首位となったが、惜しかったのは同チームに1点差で惜敗した野菊野ファイターズ。最終的には加岸ベアーズと引き分けて1勝1敗1引き分けに終わったが、伊勢原ジャガーズに勝っていれば首位の芽があっただけに、同チームに敗れたのが全てだった。

首位となった伊勢原ジャガーズは、野菊野ファイターズ戦は点の取り合いで辛勝だったが、その他の2試合に大勝して、安定した実力を発揮した。

◆Bブロック

5年生主体の流山ホークスが、五香メッツと流山マリーンズの2チームには1点差勝ちしたものの、豊四季イーグルスには大勝して3戦全勝の首位は見事。

2位は五香メッツと流山マリーンズとで争ったが、ともに流山ホークスに敗れて、最終的には1勝1敗1引き分けの同成績に終わった。しかも直接対決では引き分けに、順位は得失点差による決着となり五香メッツが上位となった。

実力的には以上の3チームは互角と見られるが、首位争いは流山ホークスの粘りが最終的に功を奏した。

◆Cブロック

出場した4チームの実力が拮抗していて大激戦を展開したブロック。最終的に首位となった北柏スーパーナインは、最下位となったありんこアントスに敗れたものの、ライバルの松戸スラッガーズ、GBC流山に勝った2勝が効いた。

逆に松戸スラッガーズとGBC流山は、ともに北柏スーパーナインに敗れたのが痛恨。この両チームは直接対決では引き分けに、最終的な順位は得失点差での決着となり、松戸スラッガーズが上位となった。

1勝2敗で最下位となったありんこアントスは、北柏スーパーナイン戦の勝利は光るが、松戸スラッガーズとGBC流山に破れて脱落した。

◆Dブロック

東深井ボーイズが3戦全勝で内容的にも完璧で、他の3チームを大きく引き離して独走した。3試合での総得点47点（1試合平均15.6点）がそれを物語っている。

2位南流ファイターズ以下の3チームは、引き分けを含めて勝ち点の差で順位が決定したが、実力的には首位となった東深井ボーイズとはかなり開きがあった感じ。しかしなが

ら、3チームの対決では総当りで引き分けだったことで、これは首位争いとは別の次元で激戦を展開して盛り上がった。

◆Eブロック

首位から最下位まで勝ち星ひとつの差できっちり順位が決まったブロック。このうち3戦全勝で首位となった前ヶ崎クラブは、攻撃力とデフェンス力のバランスが安定していた。3試合での総得点が21点（1試合平均7点）に対して総失点5点（1試合平均1.7点）がそれを証明している。

2位となった西新田子ども会は、平川レッドスターズと小田急ライオンズにはかったものの、前ヶ崎クラブ戦に敗れたのが致命傷だった。

◆Fブロック

豊上ジュニアーズがカージナルスと0-0の引き分けはあったが、他の2試合に勝ったことで、リーグ戦消化期限内に1試合終了出来なかったカージナルス、野田ドンキースの勝ち点を上回って首位を決めた。ちなみに、同チームが3試合で挙げた総得点38点（1試合平均12.7点）と総失点2点（1試合平均0.7点）はリーグ戦全体での新記録。

カージナルスは最終戦の野田ドンキーズ戦が同チームの都合でできなかつたため、1勝1引き分けの成績でリーグ戦を終わったが、数字的には対野田ドンキーズ線がリーグ戦の期限内で出来て勝利したとしても、豊上ジュニアーズには得失点差ではるかに及ばないため首位は無理だった。

この結果、カージナルス vs 野田ドンキーズ戦は大会が終了した後に、消化試合として改めて行われた。

◆Gブロック

光ヶが丘シャークスと八木南クラブのマッチレースで終わったブロック。直接対決で接戦勝ちした光ヶが丘シャークスが、最終的に3線全勝で首位となったが、敗れた八木南クラブはこの敗戦が全てで残念だった。但し、実力的にはこの2チームは互角と診られる。

向小金ファイターズと野田ジャガーズはトモニ2敗で首位争いとは無縁だったが、直接対決で両チーム健闘引き分けたためね順位は得失点差の決着となり向小金が上位となった。

◆Hブロック

このブロックのみ3チーム編成のため、短期間で勝敗が決定した。3チームによる総当たり戦の結果、長崎FLBが余裕で2勝して首位を決めた。敗れた松葉ニューセラミックスと山崎クーガーズは頑張ったものの、首位の長崎FLBとはちょっと力の差があった感じ。

東葛地区親睦少年野球夏季大会 歴代ベスト4

回数	開催年度	出場チーム	優勝	準優勝	第三位	第四位
1	1976 昭和51年	14	流山シャークス (流山)	ブラックバード (我孫子)	松ヶ丘 (流山)	流山バード (流山)
2	1977 昭和52年	16	沼南ジャリーズ (沼南)	流山シャークス (流山)	高柳サンダース (沼南)	南部イーグルス (沼南)
3	1978 昭和53年	36	トライスター (柏)	四小レンジャーズ (柏)	沼南ロビンス (沼南)	名戸ヶ谷アトミック (柏)
4	1979 昭和54年	48	北柏スーパーナイン (柏)	沼南イーグルス (沼南)	四小レンジャーズ (柏)	加台ボンバーズ (流山)
5	1980 昭和55年	34	トライスター (柏)	増尾レッドスターズ (柏)	沼南ファイヤーズ (沼南)	北柏スーパーナイン (柏)
6	1981 昭和56年	40	トライスター (柏)	沼南ファイヤーズ (沼南)	リトルジャガーズ (我孫子)	リアノス (柏)
7	1982 昭和57年	46	沼南イーグルス (沼南)	四季野はやぶさ (流山)	リアノス (柏)	布施リトルジャイアンツ (柏)
8	1983 昭和58年	47	リトルジャガーズ (我孫子)	トライスター (柏)	豊四季イーグルス (柏)	名戸ヶ谷アトミック (柏)
9	1984 昭和59年	61	Aブロック 布施リトルジャイアンツ (柏)	中新宿ウイングス (柏)	トライスター (柏)	千代田ファイターズ (柏)
			Bブロック 松葉ニューセラミックス (柏)	流山シャークス (流山)	カージナルス (流山)	平井ビクトリー (沼南友軍・東京)
10	1985 昭和60年	62	リトルキング (我孫子)	四小地区少年野球クラブ (柏)	大津ヶ丘ファイターズ (沼南)	柏ライナーズ (柏)
11	1986 昭和61年	46	高野台ジャガーズ (柏)	布施リトルジャイアンツ (柏)	沼南ジャリーズ (沼南)	柏ライナーズ (柏)
12	1987 昭和62年	48	トライスター (柏)	名戸ヶ谷アトミック (柏)	柏友ジャニーズ (柏)	リアノス (柏)
13	1988 昭和63年	48	柏友ジャニーズ (柏)	江戸川台アトラス (流山)	野田ヤンキース (野田)	トライスター (柏)
14	1989 平成元年	47	松葉ニューセラミックス (柏)	千代田ファイターズ (柏)	トライスター (柏)	江戸川台フェニックス (流山)
15	1990 平成2年	60	柏ヤンガーズ (柏)	千代田ファイターズ (柏)	流山ホークス (流山)	豊四季イーグルス (柏)
16	1991 平成3年	55	高野台ジャガーズ (柏)	ありんこアトス (流山)	名戸ヶ谷アトミック (柏)	柏ヤンガーズ (柏)
17	1992 平成4年	51	千代田ファイターズ (柏)	高野台ジャガーズ (柏)	松葉ニューセラミックス (柏)	鱈ヶ崎ジュニアフィンズ (流山)
18	1993 平成5年	56	千代田ファイターズ (柏)	豊四季イーグルス (柏)	つくしが丘ファイブス (柏)	トライスター (柏)
19	1994 平成6年	58	名戸ヶ谷アトミック (柏)	牧の原ジュニアーズ (松戸)	ありんこアトス (流山)	リトルベアーズ (松戸)
20	1995 平成7年	50	南部少年野球クラブ (鎌ヶ谷)	牧の原ジュニアーズ (松戸)	リトルベアーズ (松戸)	フェニックス (鎌ヶ谷)
21	1996 平成8年	46	小金原ビクトリー (松戸)	高野台ジャガーズ (柏)	牧の原ジュニアーズ (松戸)	流南ベアーズ (流山)
22	1997 平成9年	42	清水タイガース (野田)	松葉ニューセラミックス (柏)	南流ファイターズ (流山)	小金原ビクトリー (松戸)
23	1998 平成10年	42	千代田ファイターズ (柏)	流山ホークス (流山)	松葉ニューセラミックス (柏)	鱈ヶ崎ジュニアフィンズA (流山)
24	1999 平成11年	42	牧の原ジュニアーズ (松戸)	西原アローズ (柏)	小金原ビクトリー (松戸)	泉ライオンズ (流山)
25	2000 平成12年	32	初石クーガーズ (流山)	高野台ジャガーズ (柏)	千代田ファイターズ (柏)	リトルベアーズ (松戸)
26	2001 平成13年	38	松葉ニューセラミックス (柏)	加岸ベアーズ (流山)	前ヶ崎クラブ (流山)	牧の原ジュニアーズ (松戸)
27	2002 平成14年	33	初石クーガーズ (流山)	千代田ファイターズ (柏)	南流ファイターズ (流山)	牧の原ジュニアーズ (松戸)
28	2003 平成15年	50	千代田ファイターズ (柏)	串崎スワローズ (松戸)	東部フェニックス (野田)	清水タイガース (野田)
29	2004 平成16年	50	初石クーガーズ (流山)	加岸ベアーズ (流山)	カージナルス (流山)	高野台ジャガーズ (柏)
30	2005 平成17年	31	初石クーガーズ (流山)	南流ファイターズ (流山)	千代田ファイターズ (柏)	新栄ファイヤーズ (柏)
31	2006 平成18年	46	ヤングスターズ (松戸)	久寺家エラーズ (我孫子)	鱈ヶ崎ジュニアフィンズ (流山)	高野台ジャガーズ (柏)
32	2007 平成19年	35	大津ヶ丘ファイターズ (柏)	小田急ライオンズ (流山)	南流ファイターズ (流山)	串崎スワローズ (松戸)
33	2008 平成20年	34	松葉ニューセラミックス (柏)	南流ファイターズ (流山)	高野台ジャガーズ (柏)	加岸ベアーズ (流山)
34	2009 平成21年	30	小金原ビクトリー (松戸)	高野台ジャガーズ (柏)	清水タイガース (野田)	南流ファイターズ (流山)
35	2010 平成22年	34	高野台ジャガーズ (柏)	高田ウインスターズ (柏)	ブラックバード (我孫子)	ヤングスターズ (松戸)
36	2011 平成23年	35	加岸ベアーズ (流山)	ヤングスターズ (松戸)	新木ファイターズ (我孫子)	梅郷パワーズ (野田)
37	2012 平成24年	35	小田急ライオンズ (流山)	カージナルス (流山)	高野台ジャガーズ (柏)	江戸川台フェニックス (流山)
38	2013 平成25年	25	串崎スワローズ (松戸)	高野台ジャガーズ (柏)	小金原ビクトリー (松戸)	東部フェニックス (野田)
39	2014 平成26年	20	セントラルパークス (松戸)	カージナルス (流山)	高野台ジャガーズ (柏)	小金原ビクトリー (松戸)
40	2015 平成27年	21	カージナルス (流山)	流山ホークス (流山)	セントラルパークス (松戸)	高田ウインスターズ (柏)

回数	開催年度	出場チーム	優勝	準優勝	第三位	第四位
41	2016 平成28年	15	セントラルパークス (松戸)	根木内ヤングスターズ (松戸)	北柏スーパーナイン (柏)	野田ジャガーズ (野田)
42	2017 平成29年	20	セントラルパークス (松戸)	吉川ドリームス (吉川)	リトルイーグルス (我孫子)	ブラックバード (我孫子)
43	2018 平成30年	12	根木内ヤングスターズ (松戸)	カージナルス (流山)	吉川ドリームス (吉川) 南流ファイターズ (流山)	
44	2019 令和元年	33	流山ホークス (流山)	東深井ボーイズ (流山)	野菊野ファイターズ (松戸)	根木内ヤングスターズ (松戸)
45	2020 令和2年	コロナの影響で開催中止				
46	2021 令和3年	51	豊上ジュニアーズ (柏)	野菊野ファイターズ (松戸)	東深井ボーイズ (流山)	伊勢原ジャガーズ (柏)
47	2022 令和4年	35	豊上ジュニアーズ (柏)	松葉ニューセラミック (柏)	野菊野ファイターズ (松戸)	向小金ファイターズ (流山)
48	2023 令和5年	32	豊上ジュニアーズ (柏)	東深井ボーイズ (流山)	長崎FLB (流山)	伊勢原ジャガーズ (柏)

※第43回大会は、日程の都合上3位決定戦は行わず、2チーム同成績となりました。

第48回関宿ライオンズクラブ旗争奪 東葛地区親睦少年野球夏季大会出場チーム名

☆流山地区⑮

江戸川台フェニックス
加岸ベアーズ
流山ホークス
流山マリーンズ
GBC流山
ありんこアントス
東深井ボーイズ
南流ファイターズ
前ヶ崎クラブ
小田急ライオンズ
カージナルス
初石クーガーズ
八木南クラブ
向小金ファイターズ
長崎FLB

☆柏地区⑦

伊勢原ジャガーズ
北柏スーパーナイン
柏ボーイング
光ヶ丘シャークス
豊上ジュニアーズ
松葉ニューセラミックス
豊四季イーグルス

☆松戸地区④

野菊野ファイターズ
五香メッツ
松戸スラッガーズ
セントラルパークス

☆野田地区④

西新田子ども会
野田ドンキーズ
野田ジャガーズ
山崎クーガーズ

☆市川地区①

市川レッドスターズ



東葛地区親睦少年野球大会のあゆみ

昭和51年夏に柏市、流山市、沼南町、我孫子市の各少年野球チームが相集い、夏休みの近隣地区親睦少年野球大会として、流山市の流山バード（後のカージナルス 代表・山田晃一氏）、流山シャークス（代表・松崎日丸夫氏）、柏市の川長コイズ（後のブルーファイン 代表・角谷正一氏）、沼南町の沼南ジャリーズ（代表・相葉藤市氏）などが発起人となって、我孫子市のチームにも呼びかけて14チームで第一回大会を開催。以降、毎年8月中旬の三日間に実施してきた。グラウンドは当時柏市議会議員であった松崎公昭氏（元カリフ少年野球大会会長で元衆議院議員）の協力を得て柏市民球場を使用した。

その後、同球場が土曜日と日曜日の使用が困難となったことに加え、出場チームも近隣から毎年増加の一途を辿って来たため、昭和56年から昭和ゴムが主催しているSG大会と提携して、同社のグラウンドを大会の専用会場とし、開催期間も毎年8月中旬の日曜日と最終土曜日、日曜日の三日間に変更された。

ちなみに、当大会はそれまで発足当初より長瀬ゴム工業（健康ボール）及び読売新聞柏専売店をメインに、柏そごうほかのスポット後援があったが、昭和59年の躍進記念大会（出場は61チームで二分割制で開催）を機に後援団体の集約化が検討され、昭和60年から後援を昭和ゴムに一本化された。

この間昭和57年に鎌ヶ谷市と野田市、市川市からの出場があり、60年には出場チームの総数が62に達した。また、59年の躍進記念大会には、埼玉県越谷市、茨城県取手市、東京葛飾区などからの特別参加チームもあり、近隣市町からの参加があつて規模の拡大をみるとともに、大会は益々隆盛を極めた。

しかし、ここ数年は大会の時期的な問題と、出場チームの地理的条件、地域事情（同期間に大会が重複）などが原因で、近隣地区からの出場チームが減少して総数30チーム前後から、平成25年度以降はさらに減少の一途を辿って来た。なお、当大会は出場チーム及び同関係者の自発的協力により役員組織（運営委員会）を構成、運営しているプライベート大会で、各市町の教育委員会ほか公共団体の支援は受けてないが、日頃から少年野球に対して深い理解のある一部企業、野球サークルなどには、後援として協力を仰いでいる。

運営面については、当大会の発起人でもある山田晃一氏が中心となって、発足当初より歴代役員が一貫して実務を担当しているが、近年は各市町の少年野球連盟役員も自発的にこれを支えて、さらに体制が確立されてきた。会長は、昭和51年から54年までは角谷正一氏（上記及び割烹川長社長）、55年から57年までは鈴木 昭氏（我孫子ナマコン社長・非常勤）、58年から61年までは相馬義明氏（元沼南町少年野球連盟会長）がそれぞれ歴任し、62年から山田晃一氏が就任して現在に至っている。

毎年12月に開催している冬季大会は、平成57年から卒業記念大会として6年生だけ（チームの編成は他チームとの混成も可）が出場する大会に改め近年定着している。

平成10年から一時日本マクドナルド東葛地区各店の後援（後に辞退）があり、大会開催時に写真撮影などに常時協力してくれていた共同写真企画も、平成14年から正式に後援に加わった。さらに平成16年から朝日スポーツキッズも後援に加わり、同年から冬季大会のみ柏リトルシニア野球協会も協賛に加わって、以降冬季大会だけは頭に「柏シニア杯争奪」を呼称することとなった。

なお、昭和60年から大会使用球で後援してくれていた昭和ゴム（SGボール）が、ボールの生産を中止したため、平成18年から新たにダイワマルエス（マルエスボール）が代わって大会の正式な使用球となった。

令和元年から夏季大会のみブロックリーグ戦形式に変更され、開催時期も7月から8月に改められた。さらに令和3年度から夏季大会のみ野田市の関宿ライオンズクラブが正式に協賛に加わったことで、大会名の頭に「関宿ライオンズクラブ旗争奪」が記されることとなった。

東葛地区親睦少年野球大会開催要項 (令和5年4月一部改正)

- 大会名 夏季:関宿ライオンズクラブ旗争奪 東葛地区親睦少年野球夏季大会
冬季:柏シニア杯争奪 東葛地区親睦少年野球卒業記念大会
- 主催・主管 東葛地区親睦少年野球大会運営委員会
後援 ダイワマルエス株式会社 (マルエスボール) 関宿ライオンズクラブ
柏リトルシニア、流山ボーイズ (全日本ボーイズリーグ加盟) 流山ロータリークラブ、株式会社共同写真企画 朝日スポーツキッズ
- 開催期間 夏季大会 令和元年度より従来のトーナメント制から参加チームを複数に分けて、6月下旬からブロックリーグ戦を行い、首位チームが7月下旬にトーナメント制で決勝大会を行う方式に改正。
冬季大会 全試合トーナメント制で12月の第一土曜日を初日として12月中に終了させる。
- 出場資格 夏季大会は3年生以上6年生までの単独Aチーム。冬季大会は全員6年生のみで、単独チームで出場出来ない場合は、5チームまでの混成が認められる。メンバーが多い場合は、同一チームで2チームの出場も可。出場チームの名称は独自のものとしても良く、監督・コーチ・選手のユニホーム、背番号も統一しなくても可。選手のほか介護員(女性2名)のベンチ入りも認められる。
- 試合方法 夏季大会①参加全チームを複数(6~8)のブロックに分けて、それぞれブロックで総当たりリーグ戦を行い、首位チームのみが決勝大会に出場出来る。
②リーグ戦の成績は勝ち点の最も多いチームを上位とする。ちなみに勝ち点は勝利2点、引き分け1点、敗戦0とする。
③リーグ戦で同成績の場合の順位は、次の規定で決定する。
1. 対戦勝利チームが上位。三つ巴の場合は得失点差の最も多いチームが上位で、得失点差が同じ場合は総失点の少ないチームが上位となる。それでも同じ場合は抽選で決定する。
2. 但し、三つ巴でも不戦敗がある場合は、当該チームはたとえ得失点差で上回っても、3チームでの最下位となる。
④全試合6回制で試合時間はシートノックを除き1時間30分。6回に達しなくても試合は時間を優先する。リーグ戦では得点差によるコールドゲームは適用しない。但し、決勝大会は全試合コールドゲーム(3回10点差・4回以降7点差)の適用がある。
⑤6回または規定時間に達しても同点の場合は、リーグ戦は引き分けとし、延長戦は行わない。但し、決勝大会に限っては特別ルール(一死満塁で継続打者)を適用して勝敗を決める。なお、特別ルールの延長回は2回までとし、それでも決着がつかない場合は抽選で決定する。
⑥投手の投球数を一試合70球までとし、いかなる場合でもそれ以上は投げられない。

順位の決定	平成26年度よりブロックリーグ戦の順位決定は勝率制を廃止し、勝点制に改める。勝点は上記した如く勝利が2点、引き分けが1点、敗戦0点とし、最も勝ち点の多い場合を上位とする。勝点と同じ場合は対戦勝者を上位とする。
審判当番	リーグ戦については、各ブロック内で話し合っ決定する。決勝大会については、原則として役員が担当するが、後援団体及び出場チームに協力を仰ぐ場合もある。
ブロック長	リーグ戦運営の総括責任者として、日程編成及び運営については「大会運営委員長」としての権限を有し、全ての責任を持つ。同時に、リーグ内の試合結果などを大会事務局まで速やかに報告することを義務付ける。 事務局：平田宗久 TEL/FAX 04-7155-4052 小泉博康 TEL/FAX 04-7154-8529
	報告は出来るだけFAXでお願いいたします。 試合の結果はホームページ（担当：小泉）に掲載されます。 リーグ戦の日程はブロック長と良く話し合っ決めてください。近年出場チームの多くが他の大会と掛け持ちのケースが増加していますので、ブロックリーグの日程消化は出来るだけ早め（抽選会後直ちに始めても可）にお願いします。 ブロック長に一任して決定した日程を2試合以上棄権した場合は、当該チームは自動的に失格となり、以降の試合には出場出来ず、残り試合は全て不戦敗（得点は（0-15）となりますので、この点をブロック長は各チームに説明し徹底するようお願いします。他大会と掛け持ちで大会の日程消化に支障を来たした場合も同様とします。但し、特別な事情がある場合はこの限りではないが、ブロック長に事前連絡がない場合は認められない。
会費 提出書類	1チーム 5000円（抽選会の時に納入する） 抽選会の時に出場チームは連絡責任者（名目上の代表者は不要）と監督名を申込書に記入して提出してもらいますので、その他の記載事項も含めて事前に確認しておいてください。記載事項の氏名は必ずフルネームで記入し、TEL、チーム名なども間違いのないようにしてください。代理抽選の場合も同様で、その折会費も必ず納入してください。
表彰	優勝、準優勝、第三位、第四位の団体賞のみ。個人賞は原則としてないが、後援団体から申し出があったものは、この限りに非ず。
付記事項	開会式には、各チームとも必ずプラカード（規格は自由）を持参して下さい。団旗の持込も歓迎します。 近年 他大会との重複による出場チーム が増加していますが、その場合当該チームは 大会の日程消化に支障を来さないように、とくに努力して下さい。 上部大会とくに県大会と重複した場合は予め調整するが、その他の大会との重複の場合は当大会への出場を優先してください。出場出来なかった場合は不戦敗とします。

東葛地区親睦少年野球大会 役員

(令和5年7月一部改選)

会	長	山	田	晃	一	流山	柏流さよなら少年野球大会会長
副	会	平	田	宗	久	流山	千葉県少年野球連盟役員
運	営	委員長・会計兼務					流山少年野球連盟役員
副	会	堀	江	速	人	野田	野田市少年野球連盟会長
事	業	小	泉	博	康	流山	流山市少年野球連盟役員
事	業	八	鍬	昌	次	流山	流山市少年野球連盟役員
運	営	松	本	秀	樹	流山	江戸川台フェニックス
運	営	亀	田	成	美	流山	流山ホークス
運	営	西	ヶ	迫	勝	流山	流山市少年野球連盟役員
運	営	相	原	次	郎	野田	野田ドンキーズ
運	営	内	田	欣	也	野田	野田市少年野球連盟役員
運	営	山	本	拓		野田	野田市少年野球連盟役員
運	営	池	田	進	一	柏	柏市少年野球連盟役員
		夏季大会会計兼務					
運	営	柿	崎		稔	柏	柏市少年野球連盟役員
運	営	小	田	部	英	柏	柏市少年野球連盟役員
運	営	濱	田		健	柏	柏市少年野球連盟役員
運	営	上	村	茂	樹	柏	柏市少年野球連盟役員
運	営	我	妻	和	憲	松戸	松戸市少年野球連盟役員
運	営	内	山		淳	松戸	松戸市少年野球連盟役員
運	営	柴	田	清	光	松戸	松戸市少年野球連盟役員

顧問 河井 康行 野田 関宿ライオンズクラブ会長



令和5年度 関宿ライオンズ旗争奪
第48回東葛地区親睦少年野球夏季大会会計報告

◆収入の部

大会参加費（5000円×31チーム）	155,000円
前回大会からの繰越金	4,068
合 計	159,068円

◆支出の部

大会賞品（トロフィ・タテ）代	27,973円
ボール（決勝大会分）代	22,500
石灰代	2,631
抽選会会場費（含むコピー代）	2,510
審判手当（決勝大会分）	12,000
大会役員諸掛（審判・昼食代ほか）	24,850
大会冊子データ作成費	40,000
大会冊子コピー代及び送料	20,000
大会冊子原稿製作費及び送料	4,000
合 計	156,464円

◆差引残高の部

次回大会への繰越金	2,604円
-----------	--------

令和5年9月24日 会計担当 池田進一

第48回東葛地区親睦少年野球夏季大会では、野田市・関宿ライオンズクラブより下記の協賛品の寄贈を賜りましたことをご報告致します

優勝から4位までのトロフィ、賞状、ボール及びメダル多数に個人賞合計5個

Forever Glory Days!



嬉しい顔も
悔しい顔も
君のプレーを
アルバムに、パネルに!

全日本軟式野球連盟指定・各種競技団体指定

株式会社 共同写真企画

OSAKA TOKYO NAGOYA FUKUOKA

東京支社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-27-7 (軟式野球会館) ☎03-5474-0741

◆本社：TEL06-6453-5981 ◆中部支店：TEL052-783-0825

◆東京サッカー事業部：TEL03-5474-0741 ◆九州支店：TEL092-474-8621

▶卒業記念品作成致します。

ご予算は、ご相談下さい。
(一人あたり2,500円から7,000円)

▶ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で
残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
(一人あたり3,500円から)

●NER企画のスタンス●

- 1,写真を見て喜んでいただける人が
いる写真を撮るように心がけます。
- 2,一枚の写真の中で主役は一人!
- 3,子供たちの表情を重視します!
- 4,徹底したコストダウンを図り、良質
な写真を安価な値段で提供します!

スポーツ少年団・イベント・その他撮影承ります。

NER企画

TEL&FAX

04-7197-0115

緊急連絡先

070-5464-4481

〒270-1121 千葉県我孫子市中峠1604-90

ボールが飛んだ。
こころも弾んだ。



「カキーン！」
その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ぼくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。



本大会使用球
MARUS BALL
マルエスボール

(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

マルエス株式会社 兵庫・大阪・東京・名古屋・九州

